

レジメン名

Tarlutamab

出典 イムデトラ適正使用ガイド2025.4作成

実施部署区分

☒入院(1コース目day1、8は必ず入院管理)
☒外来 ☐処置

対象疾患

小細胞肺がん

☒進行・再発: 3次治療以降
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

1クール期間

28日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準(再開しない)

CRS(サイトカイン症候群)	Grade3(再発)、Grade4
ICANS(免疫エフェクター細胞関連神経毒)	Grade3(1週間以内にGrade1以下に改善しない場合、再発)、Grade4
ANC1000/mm ³ 未満	3週間以内に1500/mm ³ 以上に改善しない場合
ANC500/mm ³ 未満	1週間以内に1500/mm ³ 以上に改善しない場合、再発
その他	Grade3(4週間以内に改善しない場合)、Grade4

投与減量の基準

投与日	投与量	休薬期間	再開時の用量
1日目	1mg	14日以内	8日目の投与量(10mg) ※1※2
		14日超	1日目の投与量(1mg) ※1※2
8日目	10mg	21日以内	15日目の投与量(10mg) ※2
		21日超	1日目の投与量(1mg) ※1※2
15日目以降	10mg	28日以内	29日目の投与量(10mg)
		28日超	1日目の投与量(1mg) ※1※2

※1: イムデトラ投与1時間以内にデキサート8.6mgを静脈内投与すること
※2: イムデトラ投与後に輸液1Lを行うこと

投与休薬の基準

ANC	1000/mm ³ 未満 (Grade3) 500/mm ³ 未満 (Grade4)	1500/mm ³ 超まで改善するまで3日間以上休薬
CRS(サイトカイン症候群)		Grade1以上
ICANS(免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群)		Grade1以上
その他	Grade1以下又はベースラインに回復するまで休薬	

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
タルラタマブ(イムデトラ)	1mg	生食236mL※	1時間	1コース目 day1
タルラタマブ(イムデトラ)	10mg	生食233mL※	1時間	1コース目 day8,15
タルラタマブ(イムデトラ)	10mg	生食233mL※	1時間	2コース目以降 day1,15
※ポリ塩化ビニル(PVC)、エチル酢酸ビニル(EVA)又はポリオレフィン(ポリエチレン、ポリプロピレン)製の輸液バッグを使用 →初版(2025.5)では「PVCフリールートを禁止」としていたが、2025.9添付文書改訂後、テルモ株式会社よりケモセーフブロックでの調製・同ルートでの投与は問題ないと確認。ケモセーフブロックのルート使用可とした。				

1日投与順

(経時的にプレデイクेशन・ポストデイクेशन、溶解液まで含む)

1コース目 day1(入院)
①デキサート6.6mg＋生食50mL(15分)
②生食50mL(フラッシュ用)
③イムデトラ1mg＋注射用水1.1mL(注射用水1.3mL/Vで溶解)＋生食236mL※(生食へ輸液安定化液13mLを加えイムデトラを混注)(60分)
④生食500mL(120分)
⑤生食500mL(120分)

1コース目 day8(入院)
①デキサート6.6mg＋生食50mL(15分)
②生食50mL(フラッシュ用)
③イムデトラ10mg＋注射用水4.2mL(注射用水4.4mL/Vで溶解)＋生食233mL※(生食へ輸液安定化液13mLを加えイムデトラを混注)(60分)
④生食500mL(120分)
⑤生食500mL(120分)

1コース目 day15(必要に応じて入院)
①生食50mL(ルート確保用)
②イムデトラ10mg＋注射用水4.2mL(注射用水4.4mL/Vで溶解)＋生食233mL※(生食へ輸液安定化液13mLを加えイムデトラを混注)(60分)
③生食500mL(120分)
④生食500mL(120分)

2コース目 day1以降
①生食50mL(ルート確保用)
②イムデトラ10mg＋注射用水4.2mL(注射用水4.4mL/Vで溶解)＋生食233mL※(生食へ輸液安定化液13mLを加えイムデトラを混注)(60分)
③生食50mL(フラッシュ用)